

消防団編



安芸高田消防出初式（一斉放水）

1 平成18年度の概要

消防本部防災課消防団係が事務の中心となり、消防団活動運営事業を行った。

消防団は、消防署と共に市民の生命、身体及び財産を守るために、火災の予防と各種災害による被害の軽減防止のために活動している。人的体制の整備としては、青年層の加入促進、消防団の組織の充実を図るとともに、各種教育訓練を通して、消防に関する高度な知識の習得と技術の向上に努めた。また、貸与品の整備等の事務を行う。

(1)消防団員の教育・研修等の実施状況として、訓練指導員(県)教育訓練・訓練指導員(市町村)教育訓練として、それぞれ広島県消防学校へ入校した。また、消防行政視察研修(島根県松江市消防団、高知県吾川郡いの町消防団)・上級幹部教育研修(消防学校)・幹部研修(安芸高田市消防本部)・初級・中級幹部訓練・初任者訓練を実施した。消防団員の訓練実施状況として、年間46回行い、延べ人数2,161名が訓練を実施した。

(2)消防団員の災害出動状況は、火災、警戒、搜索、予防等で年間45回延べ人数2,680名が出動した。

(3)その他、毎月第2金曜日本部員会議、応急手当普及員講習会、年末夜間警戒、出初式等各種行事等を行った。

消防団員の訓練を行うことにより、機械器具の適切且つ有効な使用方法、及び有効な命令伝達方法を習得した。今後も訓練、研修等を行うことにより、団員の資質向上に努める。

消防施設管理事業として、消防団の施設・設備の維持管理を行うため団員、係員が連携を図るとともに、施設・設備の改善、計画的な更新計画等の事務を行った。

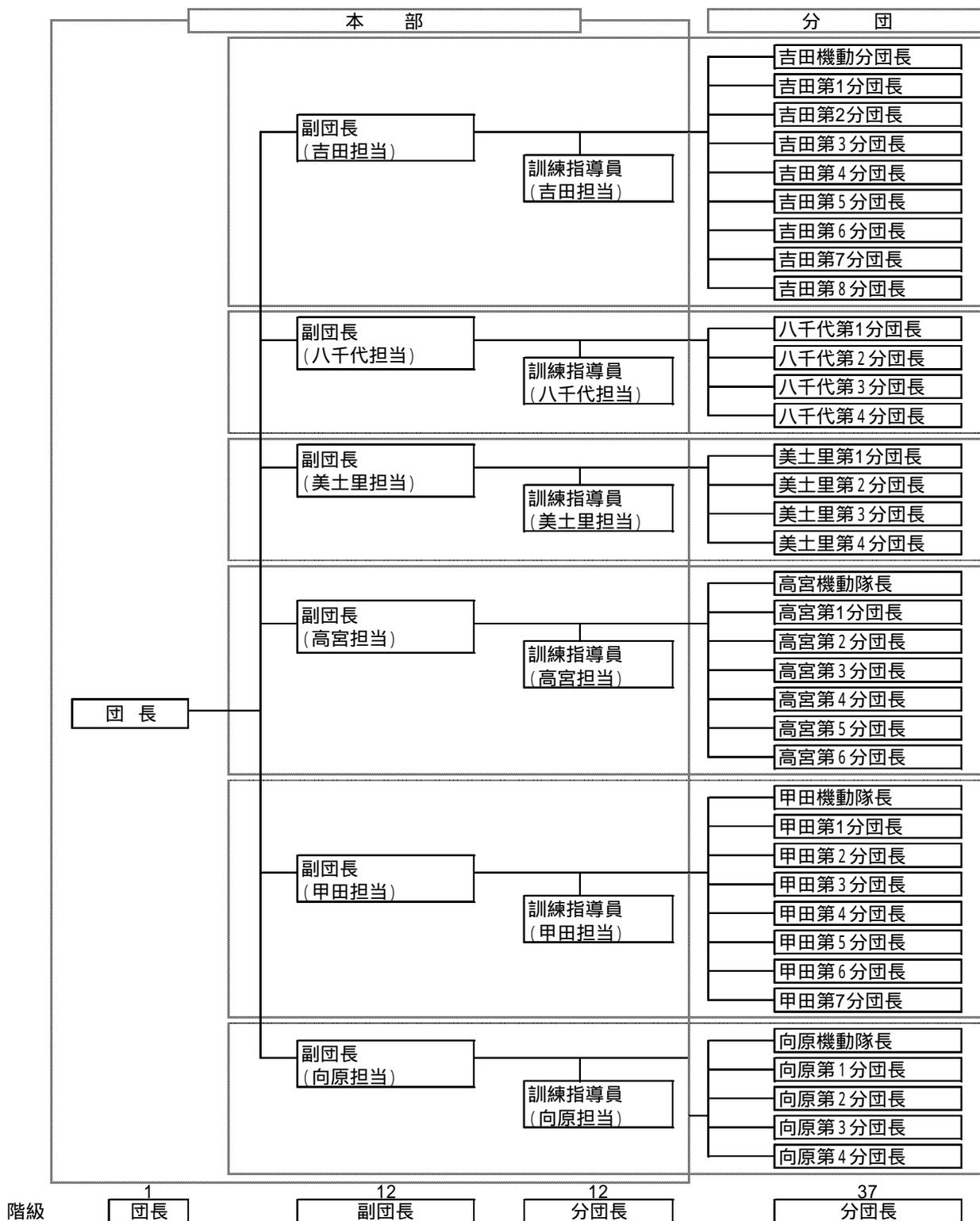
(1)維持管理工事業として、詰所維持管理工事を行った。

(2)備品購入事業として、小型動力ポンプ付積載車3台を更新し、美土里第1分団第1班・美土里第2分団第5班・美土里第4分団第2班に配備した。

(3)今後の課題として、分団詰所の便所、水道の未整備箇所の整備、機械器具の計画的な配置を行い、団施設・設備等の計画的な整備が必要である。(詰所、積載車、ポンプ車、指揮車の適正な配置。詰所の整備。無線の整備等。)

2 安芸高田市消防団組織図

(平成19年4月1日現在)



3 歴代消防団長

歴代	氏名	在職期間	備考
初代	青原敏治	H.16.3.1 ~	

(旧高田郡各町別団長)

歴代	氏名	在職期間	備考
吉田町	赤川三郎	H12.4.1 ~ H16.2.29	
八千代町	青原敏治	H9.1.1 ~ H16.2.29	
美土里町	佐々木義明	H14.1.1 ~ H16.2.29	
高宮町	深井達雄	H13.10.7 ~ H16.2.29	
甲田町	金山幸治	H13.1.1 ~ H16.2.29	
向原町	大久保義彦	H13.12.1 ~ H16.2.29	

4 消防団員の定員と所属別団員数

(平成19年4月1日現在)

区分	団本部	分団数	階級別団員数							条例定数	現員
			団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員		
吉田	1	9		2	11	9	9	11	135	180	177
八千代		4	1	2	6	4	4	9	70	91	96
美土里		4		2	6	4	4	20	116	148	152
高宮		7		2	9	7	7	10	123	156	158
甲田		8		2	10	8	8	31	83	148	142
向原		5		2	7	5	5	16	83	117	118
合計			37	1	12	49	37	37	97	610	840

5 各町別消防団員の定員と所属別団員数

(平成19年4月1日現在)

消防団定員数(階級別)

	団長	副団長	分団長 指導員	分団長	副分団長	部長	班長	団員	小計
本部	1	12	12						25
吉田				9	9	9	11	142	180
八千代				4	4	4	9	70	91
美土里				4	4	4	20	116	148
高宮				7	7	7	10	125	156
甲田				8	8	8	32	92	148
向原				5	5	5	16	86	117
小計	1	12	12	37	37	37	98	631	865

消防団員実員数(階級別)

	団長	副団長	分団長 指導員	分団長	副分団長	部長	班長	団員	小計
本部	1	12	12						25
吉田				9	9	9	11	135	173
八千代				4	4	4	9	70	91
美土里				4	4	4	20	116	148
高宮				7	7	7	10	123	154
甲田				8	8	8	31	83	138
向原				5	5	5	16	83	114
小計	1	12	12	37	37	37	97	610	843

6 消防団員の報酬

階 級	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員
年額（円）	116,000	82,000	65,000	53,000	44,000	37,000	32,000

7 消防団員の年齢

（平成19年4月1日現在）

階級・種別 年齢	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
平均年齢	56.0	55.5	50.0	48.5	48.4	44.8	38.5	41.0
20歳未満								
20歳以上 25歳未満							22	22
25歳以上 30歳未満						1	76	77
30歳以上 35歳未満						5	135	140
35歳以上 40歳未満			1		2	13	117	133
40歳以上 45歳未満			7	7	6	27	99	146
45歳以上 50歳未満		2	12	16	12	28	85	155
50歳以上 55歳未満		2	19	12	13	18	56	120
55歳以上	1	8	10	2	4	5	20	50
合 計	1	12	49	37	37	97	610	843

8 消防団員の勤務年数

（平成19年4月1日現在）

勤務年数	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
人員	184人	184人	158人	139人	105人	47人	26人

9 出動状況（平成18年中）

種別	火災	風水害等 の災害	演習 訓練等	広 報 指 導	特別 警戒	捜索	誤報等	その他	合計
出 動 回 数	22	4	46	15	9	4	1	2	103
出動延べ人員	1,171	827	2,154	454	956	185	27	44	5,818

10 消防ポンプ自動車等の現勢

(平成19年4月1日現在)

別	区分	消防ポンプ自動車	水槽付消防ポンプ自動車	小型動力積載車	その他消防自動車	小型動力ポンプ
吉田				10	1	9
八千代		1		5		4
美土里				21	2	
高宮		1		18		
甲田		2		6	1	2
向原		2		5	1	
合計		6		65	5	15

11 高田郡消防操法大会及び安芸高田市消防団消防操法大会成績状況

高田郡消防操法大会

回数	開催年度	優勝	準優勝	第3位	備考
1	昭和51年	美土里町	美土里町	高宮町	
2	昭和53年	向原町	美土里町	八千代町	
3	昭和55年	甲田町	甲田町	八千代町	
4	昭和57年	甲田町	吉田町	吉田町	
5	昭和59年	甲田町	美土里町	甲田町	
6	昭和63年	甲田町	美土里町	甲田町	
7	平成4年	吉田町	八千代町	美土里町	
8	平成12年	甲田町	吉田町	向原町	

安芸高田市消防団消防操法大会

回数	開催年度	優勝	準優勝	第3位	備考
1	平成17年	甲田	向原	吉田	